



**平和な日常の幸せを守るため、自分にできることは何か**

私が、派遣事業の中で一番印象が強かったことは、平和記念公園を歩いたときにガイドさんから教わった「平和の灯<sup>ともしび</sup>」です。平和の灯は、世界から核兵器が無くなったときに消える灯で、無くなるまで毎日ついています。ガイドさんから「私が生きている間にこの火は消えることはありません。この火を消すことがあなたたちの使命ですよ。」と言われました。

城西中学校  
丸山 晏凛<sup>あんり</sup>

**自分の目で確かめた、原爆の悲惨さ**

僕は、日々の授業で戦争について深く学んでいく中で、戦争の悲惨さについて自分の目で確かめてみたいと思い、派遣事業に参加しました。実際に広島を訪れ、原爆ドームや広島平和記念資料館などで目にしたのは、当たり前前の生活が一瞬で奪われた様子でした。広島平和記念資料館で展示されていた、被爆しなくなった中学生の衣服はボロボロに焦げて

中郷中学校  
高橋 陽介

この言葉を聞いた後、被爆体験証言者のお話を聞いたり各所で資料を見たりして想像を絶する惨劇を知り、困惑しました。それと同時に、今ある日常が平和でとても幸せなことだと感じ、私自身も「核兵器を廃絶するために何か行動しなければ」と強く考えました。

**「平和の灯」を消すために**

なぜ、核兵器を所持する国があるのか、いまだに無くならないのはなぜか、と考えたとき、それは不安や恐怖を武力で抑制したいからではないかと私は考えています。被爆に関する知識がみんなに理解されれば、絶対に無くさな

いて、想像を絶する悲惨さがありました。

僕は今、当たり前前のようにご飯を食べ、学校に行って学び、好きなスポーツができます。この当たり前前は貴重なものだと思えました。

**平和について  
まずは家族や友人と一緒に**

今回、戦争や被爆をより身近に学ばせていただき、今の時代を生きている僕たちにできることは、平和について考え、意見を持ち、伝えていけるようになることだと思います。そ

ければならないと分かると思います。

そこで、私にできることは何かと考えた結果、本当に微力ですが、学校での報告の際、1人でも多くの人が広島惨劇について心を傾けてくれるように話をするのだと思いました。話を聞いてくれた人や、今回一緒に派遣事業に参加したみんなの気持ちを核廃絶につなげて、

平和記念公園で話を聞いたガイドさんに「平和の灯が消えたよ。」と報告したいです。

ガイドさんの説明を聞き、真剣にメモを取る丸山さん

のためにまずは、今回の体験で感じたこと、見たこと、考えたことを家族や友達に伝え、平和について一緒に考えたいと思います。

それに、今も世界には紛争や戦争が起きている地域があります。この戦争などを他人事に考えず、ニュースや新聞からしっかりと情報を得るなどして、自分事として考えていきたいです。

袋町小学校平和資料館で、展示資料を一心に見つめる高橋さん

|特集| 広島平和記念式典中学生派遣事業

# 平和のために 私たちができること

■問合せ…学校教育課(☎025-545-9244)



|      |                                   |                                    |                                   |                                   |                                 |                                  |                                  |                                 |
|------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 【後列】 | 五十嵐聡敏 <sup>そうえい</sup> さん<br>頸城中学校 | 斉藤匡 <sup>たすく</sup> さん<br>直江津中等教育学校 | 長谷川絆 <sup>きずな</sup> さん<br>東頸中学校   | 宮川虹大 <sup>こうた</sup> さん<br>八千浦中学校  | 市川利空 <sup>りく</sup> さん<br>城北中学校  | 高橋陽介 <sup>ようすけ</sup> さん<br>中郷中学校 | 長井在希 <sup>あるき</sup> さん<br>柿崎中学校  | 本多健悟 <sup>けんご</sup> さん<br>名立中学校 |
| 【中列】 | 飯田奏夢 <sup>かなむ</sup> さん<br>牧中学校    | 藤井拓翼 <sup>たくと</sup> さん<br>三和中学校    | 大内舜也 <sup>しゅんや</sup> さん<br>板倉中学校  | 古川桜 <sup>さくら</sup> さん<br>城東中学校    | 金沢依真 <sup>えま</sup> さん<br>大湯町中学校 | 丸山晏凛 <sup>あんり</sup> さん<br>城西中学校  | 西條理乃 <sup>りの</sup> さん<br>雄志中学校   |                                 |
| 【前列】 | 古川鈴夏 <sup>すずか</sup> さん<br>直江津中学校  | 坂田芽衣 <sup>めい</sup> さん<br>清里中学校     | 岩島芽依 <sup>あい</sup> さん<br>上教大附属中学校 | 南雲一華 <sup>いちか</sup> さん<br>直江津東中学校 | 古川稜純 <sup>かすみ</sup> さん<br>潮陵中学校 | 田辺ほのか <sup>ののか</sup> さん<br>春日中学校 | 中島穂乃花 <sup>ほのか</sup> さん<br>吉川中学校 |                                 |



**「平和」の大切さを次の世代に**

2022年から続くロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、世界では終わりの見えない紛争により、今この瞬間にも多くの尊い命が失われています。

今日の日本に暮らす私たちには遠い国でのことに感じられますが、第二次世界大戦では、広島と長崎に原爆が投下され、多くの方が犠牲になりました。戦後79年が経過し、被爆者の高齢化に伴いその恐ろしい戦争の記憶は薄れつつあります。

このような中、市では戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、後世に伝えることを目的に、8月5日から7日までの3日間にわたり、次代を担う中学生の代表22人を広島へ派遣しました。今号では、広島での体験を経た生徒の皆さんの平和への思いを紹介します。

広島平和記念式典  
中学生派遣事業